

教科・科目	【国語・現代の国語】	単位数：2 単位 履修年次：1 年次
目標	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	
教材	現代文単語 評論・小説（桐原書店）、入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP 2500（いっずな書店）、 プログレス現代文総演習基本編（いっずな書店）、進研 WINSTEP 古典 1（ラーズ）	
学習方法	① 漢字や語句の意味等、基礎知識に関する確認を毎回の授業時に行うが、それだけではなく様々な文章を読み、積極的に語彙量を増やすよう心掛ける。 ② 「話すこと・聞くこと」に関しては、スピーチ、リスニングを教材とする。 ③ 「書くこと」に関しては、評論文を学習するごとに要約の提出を求める。 ④ 「読むこと」に関しては、教科書にある文章を教材として使用するが、それ以外に、適宜、週末課題の提出を求める。論理の構成や展開の仕方等、読み方を身につける。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準 （支援なしで）活用できる	実社会に必要な国語の知識や技能を十分に身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが十分にできている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を十分に深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
（支援ありで）活用できる	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみ、言葉を使おうとしている。
不十分である	実社会に必要な国語の知識や技能が不十分である。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりことが不十分である。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めることが不十分である。また、読書に親しみ、言葉を効果的に使おうことも不十分である。
評価方法 麻高GP	定期考査	定期考査、提出物、表現活動	週末課題、提出物
 1 自律性  2 協働性  3 主体性  4 課題解決能力  5 情報活用能力  6 実践・発信力  7 メタ認知能力  8 探究心  9 チャレンジ精神  10 レジリエンス力			

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～	「書けない日々」 若松英輔	第1回定期考査、要約
	5月	「コミュニケーション能力とは何か」 内田樹	
	6月～	「水の東西」 山崎正和	第1回実力テスト
	8月	「ポストプライバシー」 阪本俊生	
	9月	「ものごとことば」 鈴木孝夫	第2回定期考査、要約
後期	10月～	「動物園というメディア」 山本茂行	第3回定期考査、要約
	11月	「時間と自由の関係について」 内山節	
	12月～	「他者を理解するということ」 鷲田清一	第2回実力テスト
	2月	「デジタルメディア時代の複製」 武村政春	第4回定期考査、要約
	3月	「動的平衡の回復」 福岡伸一	

● [評価基準]

	学期末観点別評価点	第1（3）回考査評価点	第2（4）回考査評価点	3観点別評価点小計	評価達成率	学期・年度末3観点別評価	学期・年度末評定
知識・技能	10	35	35	$\alpha = 0 \sim 45$	$\textcircled{1} = (\alpha / 45) \times 100$	A ～ C	
思考・判断・表現	10	35	35	$\beta = 0 \sim 45$	$\textcircled{2} = (\beta / 45) \times 100$	A ～ C	
主体的に学習に取り組む態度	10			$\gamma = 0 \sim 10$	$\textcircled{3} = (\gamma / 10) \times 100$	A ～ C	
3観点別評価点小計	30	35	35	0 ～ 100	$\textcircled{4} = (\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3}) / 3$		5 ～ 1

評価達成率①～③	評価の内容	観点別評価
66 ～ 100	「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
21 ～ 65	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
0 ～ 20	「努力を要する」状況と判断されたもの	C

全評価達成④	評定の内容	評定
85 ～ 100	「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	5
65 ～ 84	「十分満足できる」状況と判断されたもの	4
40 ～ 64	「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	3
20 ～ 39	「努力を要する」状況と判断されたもの	2
0 ～ 19	「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	1